

追分てんぐ

発行・秋田県天王町役場 TEL (018878) 2211~4
編集・企画室 印刷・一日市印刷 電 (018875) 2038

町のうごき

本籍数	4,817
本籍人口	15,198
世帯数	3,992 (3,863)
住民登録人口	14,328 (14,173)
内 { 男女	6,867 7,461

5月1日現在
()内は4月1日現在



▲ミキサー車でコンクリートを流しプールの底面づくりに大わらわ (5月24日撮影)

夏休み前にオープン

追分小プール

これで町内四小学校が完備

本町の追分小学校に学校プールの建設することになり、四月十日から工事が行われている。これが完成すると、四十二年建設の天王小、四十五年東湖小、四十七年戸小と、児童生徒の体力づくりを中心にした保健体育の充実強化をはかるために計画的に進めている学校プール建設も、町内四小学校は全部完備されることになる。

追分小のプールは、校舎の北側に建設中で、いまコンクリート打ち工事が盛んに行われており、六月三十日に完成する予定。夏休み前にはプール開きをし、子どもたちに解放する運びである。

このプールは、長辺が二十五メートル、短辺が十一・八メートルで六コースをとっており、水深は、一番深い所で一・〇メートル、水面積は三百七十四・八一平方メートルとなっている。これに更衣室、シャワー室、機械室などが備えられ、プールは白セメント、コースはタイルで化粧される。

また、泳げない子どもや幼児のために、長辺十五メートル、短辺五メートル、水深五センチメートルの半円に型どられた幼児プールがつくられる。

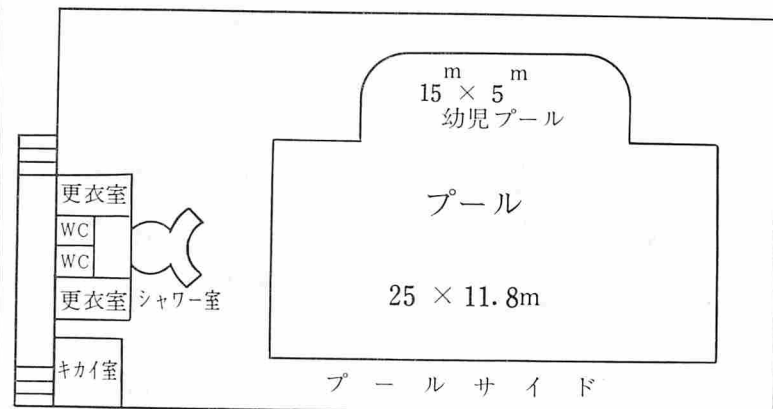
この工事にかかる費用は、千四百八十八万円で、このうち国からの補助を二百八十万五千元を見込んでいる。

追分地区では、現在、幼稚園児が五十五人、小学校児童二百二十二人、中学校生徒九十五人がいるが、海岸にも遠く、しかも水泳危険地域にもなっているため、この完成により水難事故防止はもろんのこと、体力強化にも役立たせ、安全な水泳場として活用されることになり、

七月のプール解放が待ち望まれている。通学中の子どもたちは、今月いっぱい完成する予定の工事

中のプールを見て、もういまから水泳シーズンへと夢をはせているようだ。

完成予定図



一貫した指導体制を...

農業指導センターを設置

本町の農業振興をはかるため「天王町農業総合指導センター」が設置された。

これは、町、農業委員会、農協、共済、土地改良区、教育委員会、普及所が提携し、指導の一元化をはかり、一貫した指導体制を確立するもので、五月七日からスタートした。

このセンターの設置に伴い、今後は、一カ月に一回、当面する農業の指導計画を協議し、センターの指導員が、これに基づいた適正な指導をすることになる。

④基盤整備の改善 ⑤生産組織の育成 ⑥農業金融の適正あつせん ⑦後継者の育成に関すること、など、事務局は役場経済課に置き、所長には経済課長があたることになった。

①農業生産の技術指導 ②農業経営改善指導 ③構造改善

住民50名 ことしも鹿島へ

秋田湾地区にも参考をと
鹿島の生いたちを見る住民
(昨年の研修から)



六月十二日から十五日までの四日間にわたって、本町の各層にわたる住民による第二次鹿島臨海工業地帯の研修視察が行われる。この先進地の研修視察は開発のめざしているものとそれがもたらしている状況を「見て確かめあい、考えあう」ことから住民参加の開発をめざして、昨年より地域、職域、団体など

県庁が 直通電話に

秋田県庁、秋田総合庁舎内の各事務所の電話番号が六月一日午後二時から変更になります。午後二時を過ぎますと、県庁総合庁舎内各課(室)係の全部

から男女あわせて五十名を募集して行っているもの。

この研修視察の「課題と成果」はひとり参加者だけのものに終ることなく、すべての住民の学習の素材になるようにと、昨年はレポートをまとめ、本紙八月号に掲載したが、今回も研修成果を積みあげるために、参加者のレポートをまとめて発表する

が直通電話になりますので、電話番号簿(電電公社から六月中旬に配付される見込み)をよく確かめてからダイヤルをしてください。
電話番号のお問い合わせは、
〇一八八—二四—一三三一の無料電話へ。

予定。

四日間の日程のうち、二日間は旅行日になり、現地における実質的な研修視察は十三日、十四日の二日間。研修の主な内容は鹿島町の各層の住民と「臨海工業開発を軸にした住民のく

町商工会

小企業者に無担保で二百万円

「小企業経営改善資金制度」これは、小企業者のためにつくられた金融制度で、四十八年十月十一日からスタートしたものです。

小企業者とは、常時雇用する従業員の数、商業、サービス業は二人以下、製造業その他は五人以下の企業者をいいます。融資の限度額は、設備資金として二百万円まで、運転資金は五十万円までで、担保、保証人は必要がないことになっていま

す。ただし、飲食店、理容、美容旅館、浴場、クリーニング業などは設備資金の融資は受けられないことになっています。

49年度

予算などを決める

町商工会では、四十九年度の通常総会を五月四日、町公民館で開いた。

当日は、昭和四十八年度の事業報告、五百十八万円の四十九年度収支決算を承認。四十九年

しと生活環境など」についての話し合い、工場地帯、汚水共同処理場、住宅団地や第一次産業の状況などの視察が盛り込まれている。経費は約二万六千円になるが、このうち八割は町負担残り二割が個人負担になる。

度の事業計画、六百六十五万円の四十九年度予算を決めた。主な四十九年度の事業は、商工振興対策として、各種の講習会、講演会の開催、全国珠算検定試験の実施、町の諸行事に協力などで、その他に金融対策、税務対策、労働福祉対策、青年婦人部に対しての計画が盛り込まれている。

住宅建設資金の借り入れ

受け付け中

個人住宅の新增政策についての、昭和四十九年度分の融資内容が決まり、ただいま受付中。

申込み場所はもよりの住宅金融公庫業務取扱店になっているので、詳しいお問合せは、その取扱店が役場建設課へ。融資内容の主なものはつぎの

とおり。

▲個人住宅の新築の場合
資格は①土地の準備ができているもの ②収入月額が償還元利金の五倍以上あるもの ③床面積が三〇㎡～一二〇㎡以下であるもの、など。

融資額は木造の場合七段階にわかれては八〇㎡以上で二五〇万円まで、利率は年五・五%、返済期間は十八年以内になっている。

住宅建設資金と土地資金の融資をあわせてうける場合は①住宅金融公庫の融資を受けて造成した宅地を購入したもの ②公営住宅立退者 ③住宅金融公庫宅地債券積立者などで土地購入の時期は昭和四十七年四月一日以降に限られており、融資額は十万円から三十万円まで面積によって四区分になっている。

▲住宅の増、改築の場合
いま自分で住んでいる持家の増築、改築、修繕などの場合でも融資の対象になるが、その場合の融資限度額は工事費の七割以内の額で十万円から一一〇万円の範囲内で、利率は六%、返済期間は十年以内。

▲年金被保険者住宅資金の貸付の場合
住宅金融公庫の資金とあわせて融資を受けられるが、その場合の主な条件は①厚生年金、船員保険、国民年金の被保険者で

被保険者期間が五年以上あるもの ②国民年金の場合には二年間以上保険料を納めているもの ③収入月額が償還元利金の五倍以上あるもの ④住宅金融公庫の融資を受けることのできる住宅などの七つの条件がある。融資額は厚生年金、船員保険の被保険者の場合には被保険者であった期間によって一〇〇万円から三五〇万円までの四段階に分れており、国民年金の被保険者の場合は五〇万円に限られている。

申し込み受付は個人住宅建設資金とのあわせ貸しの第一回は六月二十六日までになっており分譲住宅購入資金とのあわせ貸しの第一回は七月二十六日までになっている。

柏崎氏に功労章

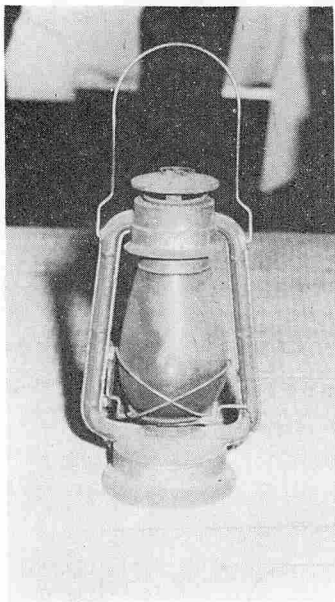
昭和四十八年度の消防長官永年勤続功労章に、本町から第二分団の分団長、柏崎佐吉郎氏(五十六歳)が選ばれ、このほど、県正庁で表彰を受けた。

同氏は、消防業務に二十五年以上勤続し、防火思想の普及、消防施設の整備、その他災害防止に関する対策の実施など、消防活動での功績が認められたもの。

民具の紹介

手さげランプ

外出用の手さげランプでホヤの上にかサがついていて、少々雨がふってもアカリは消えないように工夫されている。通称はガストウといったもの。上部と下部でホヤを固定したもので安定したところが特長になっている。



火事、救急は

一一九番へ

追分地区の方は

〇二六六—三四三四へ

男性に多い脳卒中

48年度の結果から

毎年、結核検診といっしょに行っている血圧測定が、こしは六月十八日から始まります。これは、脳卒中で死ぬ人、後遺症で悩む人がひとりでも少なくなるようにと、七月九日まで各地区を巡回相談します。

ふだん、自分の血圧が高くなつたことに、まったく気がつかない人、身体に異常を感じない

表 1

対象者	受診者	性別		精密検診対象者	性別	
		男	女		男	女
5,528人	2,951人	749人	2,202人	706人	227人	479人

表 2

対象者	受診者	正常	要注意		要 医 療					
			要 観	要 注	要 治	要 精	観 精	注 精	治 精	
706人	410人	61人	70人	47人	189人	8人	1人	3人	31人	



▲自分の健康は自分で確かめましょう
大丈夫といわれてニッコリ

ため、高いと注意されても治療をしないでいる人や自己判断で薬を加減してのんでいる人、また、時々気がついた時だけ薬をのむ人……こんな状態の人たちが脳卒中になつています。

表(1)は、昭和四十八年度に行つた血圧測定の結果です。測定をうけた人の多くは女性で男性ひとりに対し女性は三人ですが、精密検診を必要とするのは、受診者からみたパーセンテージでみると、逆に男性が多い結果がでています。

表(2)は、精密検診の結果で、正常者が六十一人、他はなんらかの異常を認められた人たちで医師の注意をよく守らなければ生命の危険が、いっおそなつてくるかわからない人たちです。

二〇代でも 高血圧症

国民健康保険に加入している人たちが、どんな病気で病院を利用しているのか、昨年の五月分を調べてみました。

原因はわからないが血圧だけ高い人、心臓病、糖尿病、腎臓病、その他が原因で血圧が高くなり、治療している人が全体の三分の一以上で、医療費は病気の全体のトップを占めています。

年代別にみると、四十歳代から六十歳代が圧倒的に多いが、二十歳代でも高血圧症の診断をうけた人もいます。若いからといって油断はできません。この病気は、慢性的経過をたどるだけに「ジワッジワツ」と、知らない間に病気が進み、なんの予告もなしに尊い生命をいっしゅんにして奪うという、たちの悪いものです。

四十八年の死亡数は百八人でこのうち、脳卒中で死亡した人は二十二人です。また、そのほとんどが男性です。

結核検診でも、新発生は男性が多く、しかも、その中で排菌しているのも男性が多くなつています。

一家の担い手である男性が多いというところは、家庭的にも社会的にも大きな損失です。

この結果からみて、男性はいろいろな検診を利用して、自分の健康は自分で確かめなければならぬことがわかります。



緩和された交通量

= 江川・船越バイパス開通 =

▲自動車のパレードで祝つた開通式

この江川船越バイパスは、延長三千五百六十六メートルで、現在は片側だけの通行となつているが、全部完成すると幅員は歩車道合わせて十九・五メートルとなる。

工事は、四十四年に用地買収四十五年から十億三千六百万円を投じて完成したもので、この事業費のうち、四百十メートルの男鹿大橋の建設には、七割強の七億七千六百万円の費用をかけて完成した。

現在の県道秋田男鹿線の江川天王地区などの道路幅員は狭く、交通量も年々うなぎのぼりの状態となつている。また、八童橋は大型車二台が交差できなく、このバイパスが完成したことから、交通量は大幅に緩和された。

第一回OB野球大会

初の栄冠は 追分 A

三十五歳以上を対象にした、初のOB野球大会が四月二十八日、職業訓練校グラウンドで行われ、熱戦が繰り広げられた。

この大会には、当初七チームの申し込みがあったが、棄権チームが二チームあり、五チームで優勝を争った。

決勝は、追分同好会Aと追分同好会Bの追分地区同志の対戦となり、三〇で追分同好会Aチームが初優勝を飾った。

当日の成績は次のとおり
優勝||追分同好会A

準優勝||追分同好会B 三位||江川

九日に

サッカー大会

町サッカー協会では、町民サッカー大会を六月九日、天王中グラウンドで行うことになった。

大会要項は次のとおり
▼日時||六月九日(日) 午前九時から
▼場所||天王中学校グラウンド
▼資格||町内に住んでいる人で中学生以上
▼申し込み先と期日||六月五日まで役場町民課菊地へ参加料五百円を添えて申し込んでください。

七月七日に

能楽 はやしのか

県内では、珍しい能楽「はやしのか」が七月七日に細谷長根の淡水荘で行われます。

この会には、東京から四名、地元からも二名が出演することになっていました。

曲目は、舞ばやし「教盛」「鶴亀」「熊坂」番ばやし「三井寺」「鞍馬天狗」などです。

参観希望者は、天王局三九一四小仲厚三さん宅へ申し込んでください。入場は無料です。

